

地元で育てた木を、地元で使う。

木にも、人にも、地球にも、それが一番いい。

全国初! ウッドマイレージCO<sub>2</sub>を組み込んだ

## 京都府産木材認証制度スタート

京都府内で生産された木材の産地証明に加えて、輸送時に排出される二酸化炭素量（ウッドマイレージCO<sub>2</sub>）を数値で示すことで、地域の木を利用することによる地球温暖化防止対策を進める制度です。



### 1 制度の特徴

#### (1) 基本は民間運営

京都府が制度の枠組み決め、認証機関と事業体を指定もしくは認定しますが、認証制度自体の運営は民間の知恵や工夫を活かす仕組みを目指しています。

#### (2) 第三者機関による地域材認証

木材の生産や流通・加工に関係しない第三者である京都府地球温暖化防止推進センターを認証機関として指定することで制度の透明性を高める工夫をしています。

#### (3) 環境指標「ウッドマイレージCO<sub>2</sub>」

輸送における地球温暖化の環境影響を消費者に意識してもらうために、木材輸送に係る二酸化炭素の総排出量を計算して示すことができる仕組みを持っています。

## 2 認証制度の仕組み

### 京都府

- (1) 取扱事業者の認定、認証機関の指定を行います。
- (2) 制度の運用状況について審査や検査を定期的に行います。

### 指定認証機関

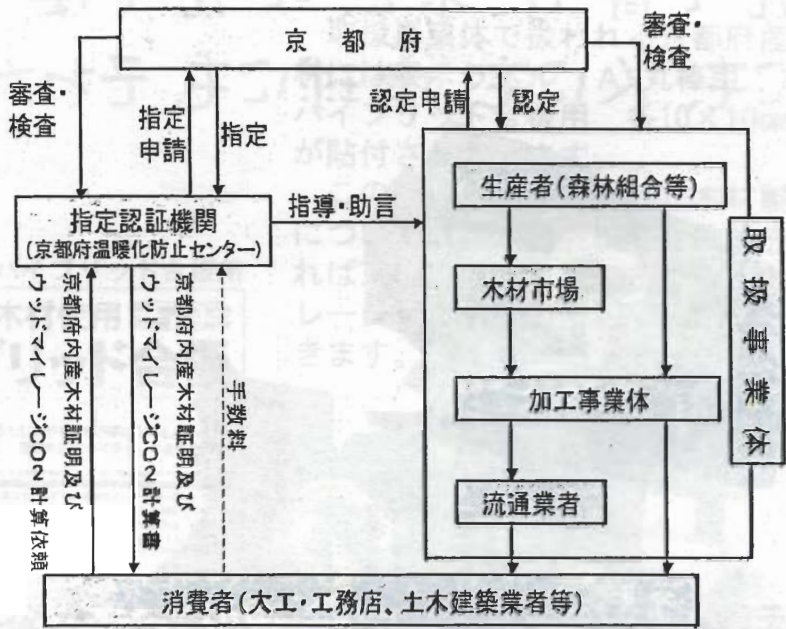
- (1) 依頼に応じ、京都府産木材証明書及びウッドマイレージCO<sub>2</sub>計算書を発行します。
- (2) 取扱事業者に対して適切な指導及び助言を行います。
- (3) 取扱事業者や消費者に対して、木材の利用における温暖化防止対策について助言を行います。

### 取扱事業者

- (1) 荷渡票等に、木材の生産地及び加工場、流通経路を記入して情報を伝達します。
- (2) 京都府産木材を分別して管理します。
- (3) 京都府産木材に関連する帳票類を5年間保管します。
- (4) 認証機関と協力して認証木材の情報を積極的に発信します。

### 消費者

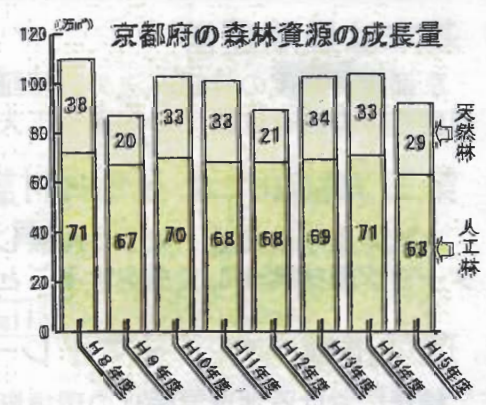
- (1) 「京都府産木材」の表示のある木材について、指定認証機関に依頼書を出すことで、「京都府産木材証明書及びウッドマイレージCO<sub>2</sub>計算書」を入手することができます。
- (2) インターネットで認証木材の入手先についての情報を知ることができます。



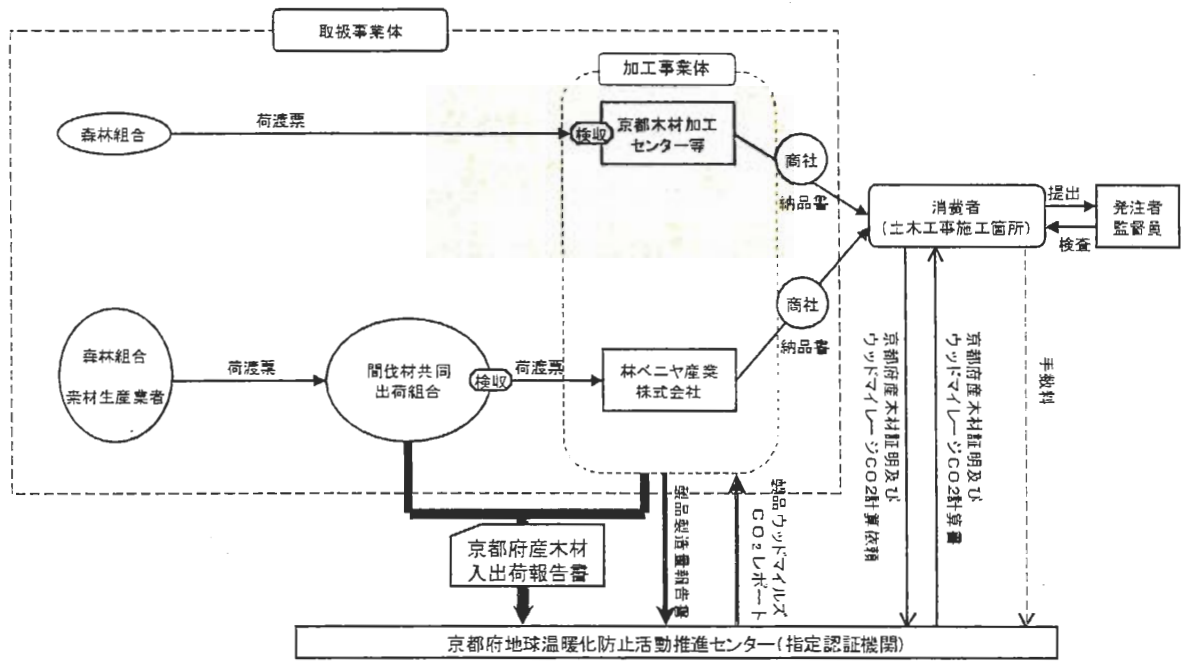
上記システムにより生産流通履歴と輸送時の二酸化炭素排出量が明確にできるものが「京都府産認証木材」です。

### 森林資源は増加しています

日本の森林は毎年およそ7,000万m<sup>3</sup>、京都府においても100万m<sup>3</sup>成長しています。つまり、毎年100万m<sup>3</sup>利用しても京都の森林は減少しないということです。これは、木造住宅にして22,000戸に相当します。毎年これだけの木材を利用しても、森林は破壊されるどころかかえって元気になります。地元で育てた木を地元で使うことで、山を豊かにし、環境を守ることができるのです。



# 3 間伐材製品認証の流れ



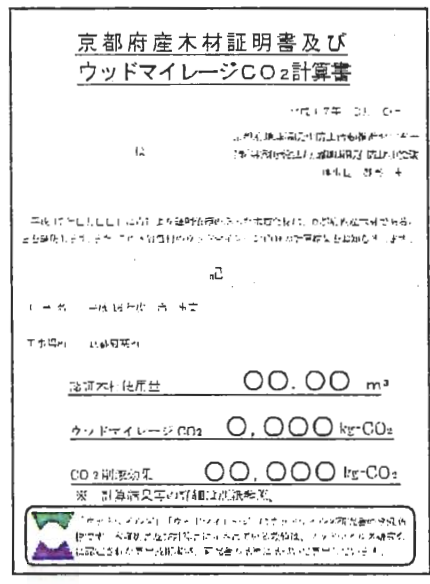
①【荷渡票の発行】  
間伐材に荷渡票を添付して送ります。



②【報告書の提出】  
加工事業体または間伐材共同出荷組合は毎月、間伐材の入荷量と製品製造量を指定認証機関に報告します。



③【製品ウッドマイルズCO2の算出】  
指定認証機関は②の報告をもとに製品ウッドマイルズCO2レポートを作成し、加工事業体に報告します。



⑥【証明書及び計算書の発行】  
指定認証機関は「証明書及び計算書」を発行します。



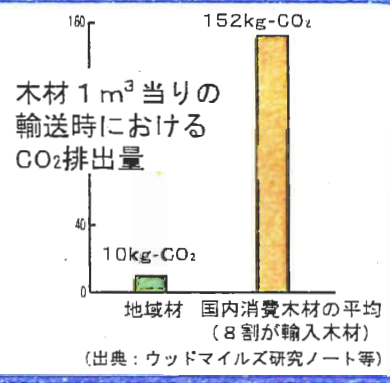
⑤【証明書及び計算書の発行依頼】  
消費者は指定認証機関に納材伝票の写しを添えて、「京都府産木材証明書及びウッドマイルージCO2計算書」の発行を依頼します。



④【納品伝票の発行】  
加工事業体は、間伐材製品に納品伝票を添付し、納材します。流通に係る取扱事業体はその写しを保管します。

## 「地域材」は地球に優しい資源です

木材は鉄やアルミニウムなどの建築資材に比べて、わずかなエネルギーで生産できる環境負荷の少ない原材料です。  
しかし、日本で使用されている木材の8割は、遠く海外から多くのエネルギーを使って運ばれています。  
地元の木材を使うことで、地球温暖化防止に貢献できるのです。



# 4 表示ラベル

## 京都府産 木材

地元で育てた木を地元で使う。木にも、人にも、地球にも、それが一番いい。

木材は、木が育つスピードで出せる「人と地球に優しい」素材です。そのほか、伐採から製材までの過程で発生するCO<sub>2</sub>を削減し、その削減分を「京都府産木材使用ラベル」に表示しています。このラベルは、CO<sub>2</sub>削減率を算出した上で算出されています。削減率が高いほど、CO<sub>2</sub>削減効果は大きくなります。削減率の算出方法は、京都府地球温暖化防止活動推進センターのホームページをご覧ください。

この木材は、ウッドマイルズCO<sub>2</sub>が算出できるようになっています。  
京都府地球温暖化防止活動推進センター

A:丸棒用

B:ハイブリッド合板用

## 京都府産 木材使用 ラベル ハイブリッド合板

毎平方メートルのCO<sub>2</sub>削減率を算出した上で、CO<sub>2</sub>削減率の50%まで算出することになった。京都府産木材使用ラベル合板です。

この木材は、ウッドマイルズCO<sub>2</sub>が算出できるようになっています。  
京都府地球温暖化防止活動推進センター

この木材は、ウッドマイルズCO<sub>2</sub>が算出できるようになっています。  
京都府地球温暖化防止活動推進センター

取扱事業者で扱われる京都府産木材には表示ラベル（A:丸棒用、B:ハイブリッド合板用 各10×10cm）が貼付されています。

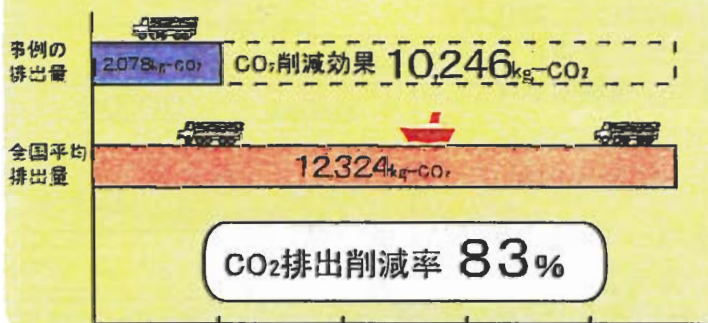
このラベルが貼付された木材製品については指定認証機関に依頼をすれば京都府産木材証明とウッドマイルズCO<sub>2</sub>の算出を行うことができます。



# 5 治山事業で使われた認証材（81m<sup>3</sup>）の事例



## CO<sub>2</sub>削減効果と削減率



事例での削減効果はガソリン4,303リットルから排出される二酸化炭素量に相当します。

## 木材の輸送時の二酸化炭素排出量を表す指標 「ウッドマイルズCO<sub>2</sub>」

木材の生産地から消費地までの距離、輸送手段、輸送量を元に、輸送過程で排出される二酸化炭素量を算出します。（単位kg-CO<sub>2</sub>）



「ウッドマイルズ」「ウッドマイルズ」はウッドマイルズ研究会の商標登録です。

ウッドマイルズ研究会URL <http://woodmiles.net/index.htm>

## 連絡先

京都府農林水産部林務課  
TEL: 075-414-5005 FAX: 075-414-5010  
URL: <http://www.pref.kyoto.jp/forest/index.html>

京都府地球温暖化防止活動推進センター  
TEL: 075-211-8895 FAX: 075-211-8896  
URL: <http://www/kefca.or.jp/> (指定認証機関)